

平成27年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

| | | | |
|----------------|----------------------|-----------------|-------------|
| 1 学校名 | 佐賀県立太良高等学校 | | |
| 2 所在地 | 藤津郡太良町大字多良 4212 番地 6 | | |
| 3 校長名 | 山口 孝 | | |
| 4 学級数 児童生徒数 | 8 学級 197 人 | 5 実施学年 児童生徒数 | 1 年 73 人 |

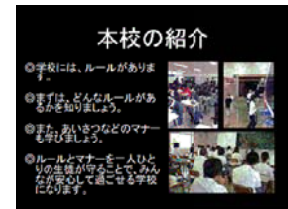
6 取組のねらい

本校は、平成23年度から実施された「全県募集枠」に合わせて始めた3つのユニバーサルデザイン化を継続して実施している。実施から5年目を迎えた今年度は、教職員への研修などによる周知・実践だけでなく、生徒にもより深い周知を図り、学校生活ばかりでなく、日々の生活においても、実践できる生徒に育ててほしいと考えて取組を行った。

7 取組の実際

- ① 入学当初のオリエンテーションでの担任及び関係教員からの話

電子黒板やパワーポイントなどのソフトを利用した説明



- ② 平成27年度「さが県政出前講座 ～ユニバーサルデザインって何?～」の受講

講師の方の話される内容に、うなずく生徒もいれば、となりの生徒に尋ねている生徒も見受けられた



- ③ 学校設定科目「奉仕」選択者への授業

ワークシート・学習用PCを活用した調べ学習、あるいは校内施設での体験実習など



- ④ 学校としての取組

取組のねらいにも書いたように、本校では「授業・学習環境・施設のUD化」を実践し、生徒を含めた学校全体としてユニバーサルデザインの考えが浸透し、常によりわかりやすくする配慮を考え、落ち着いた学校生活を生徒が送れるように実行している。

8 取組の成果と課題

取組みの成果としては、生徒の理解を深めることにつながり、一部の生徒で自ら実践している場面が見受けられた。さらに、お互いの安心感が増すことで、学校生活を送る上でこれまでにない活気が生じている生徒もいる。

一方の課題としては、生徒の中にはうわべだけの解釈で、学校生活・日常生活において、周囲の安全・安心に注意を払わない生徒もおり、周知の徹底と継続が今後も必要であることを念頭に、さらなる実践を行っていきたいと考えている。